

事業報告書

平成 29 年 4 月より施行される社会福祉法の一部改正にともない、定款の一部改正、評議員選任・解任規程の改定作業を行い社協の基盤整備を図った。

平成 7 年度から地区福祉委員会が活動母体となり取り組んでいる小地域ネットワーク事業については、地域ごとにきめ細かな活動を支援した結果、誰もが参加できるカフェスタイルのサロンが増えてきた。また、小地域ネットワーク活動報告集会において、市長より 20 年間継続して活動に取り組んだ 25 名の人たちに感謝状が贈られた。

在宅福祉事業である有償協力員派遣事業については、徐々にではあるが支援を求める依頼が多くなってきた。

ボランティアセンター事業については、サロン・ド・ボランティアを核とした需給調整を行っているが、個人登録ボランティアが昨年度とほぼ同様の 131 人の登録となり、ボランティアを必要としている活動に対して応えるためボランティアフェスティバルの開催や社協だよりによって周知に努めた。

地域包括支援センター事業については、昨年に続き年々増加する高齢者虐待や困難事例への支援をはじめ、ケアマネや事業所向けの連絡会や研修会及び市民向けの講座を開催し介護事業を推進した。

介護支援サポーター事業については、登録者の増を目指し積極的に養成講座や交流会を実施した。

基幹相談支援センター事業については障がい者に寄り添ったセンターを推進するため、個別相談に対応すると共に相談事業所への支援・相談支援専門員への後方支援等を行った。また、障がい者理解を促進するための小学生向け冊子や事業所向けの法律相談事例集を配布し啓発に努めた。

また、CSW（コミュニティソーシャルワーク）事業については管理者として 3 法人と毎月 1 回 CSW 連絡会や昨年に続き大学講師を交えたスーパーバイズ会議を開催し資質向上と連携強化を図った。

福祉センター管理事業については、安心・安全に利用できるような管理運営に努めると共に、利用促進を目的にふれあい交流会を 2 回開催した。

社協自主財源の確保として、引き続き社協会員会費募集に努め、10 月には積極的に関係役職員が街頭で呼びかけ共同募金の増加に努めた。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進に関係者・関係機関と連携し以下のとおり取り組んだ。

〔1〕法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

(1) 定例理事会の開催	10回
(2) 三役会の実施	4回
(3) 定例評議員会の開催	3回
(4) 監査の実施	1回
(5) 理事・監事・地区福祉委員会合同研修会の開催	1回

開催日 / 平成28年10月11日(火)

内容 / 地域包括ケアシステムと小地域ケア会議について

場所 / 津山市社会福祉協議会(岡山県)

参加者 / 23名

〔2〕地域福祉事業の推進

平成7年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいいきいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが積極的に開催された。

平成25年度から継続して行っている、「地域の暮らしを話す会」については、各地区福祉委員会を単位として開催し、地域の問題の把握や、課題解決に向けた話し合いの場の設定を行うことができた。そのことによって、対象者や時間内の出入りを限定しない、「コミュニティカフェ」型のいきいきサロン活動が増えるなど、新たな活動の広がりもみられている。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

《7年度～》	(1) 日新地区福祉委員会連合会・・・〔4支部〕
	(2) 佐野台地区福祉委員会・・・〔4支部〕
	(3) 北中地区福祉委員会・・・〔3支部〕
	(4) 三小地区福祉委員会・・・〔3支部〕
	(5) 末広地区福祉委員会・・・〔6支部〕
《8年度～》	(6) 一小地区福祉委員会・・・〔8支部〕
《9年度～》	(7) 長滝地区福祉委員会・・・〔4支部〕
《10年度～》	(8) 上之郷地区福祉委員会・・・〔7支部〕
《11年度～》	(9) 大土地地区福祉委員会・・・〔2支部〕
《12年度～》	(10) 長坂地区福祉委員会・・・〔8支部〕
《13年度～》	(11) 日根野地区福祉委員会・・・〔9支部〕
《14年度～》	(12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕
	(13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕
《15年度～》	(14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕

2. 連絡会の開催

(1) 地区福祉委員会連絡会の開催	4回
(2) 支部連絡会の開催	1回

3. 研修会・講座等の開催

(1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 平成 29 年 1 月 30 日 (月)
 内 容 / 「地域が行う子育てサロンの意義とボランティアの関わり」
 講 師 / 特定非営利法人 京都子育てネットワーク
 理事長 藤本 明美 氏

(2) 研修会の実施 (社協理事・監事合同)

開催日 / 平成 28 年 10 月 11 日 (火)
 内 容 / 地域包括ケアシステムと小地域ケア会議について
 場 所 / 津山市社会福祉協議会 (岡山県)
 参加者 / 23 名

(3) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 平成 29 年 2 月 14 日 (火)
 内 容 / ◆実践報告
 ①子育てサロン「あおぞら」の取り組み
 /長滝地区福祉委員会中ノ番支部
 ② 誰でも来られるサロン「ひだまり」の取り組み
 /長坂地区福祉委員会泉ヶ丘支部
 ◆基調講演「聴覚障がい者が災害時に困ること」
 講師：安藤美紀氏 (NPO 法人 MAMIE 代表)
 参加者 / 314 名 (地区関係者・福祉事業関係者・一般市民含む)

(4) 小地域を支えるボランティア講座

より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行えるようにメニュー表の整備などを行った。

日時	地区	内容	人数
5 月 15 日 (日)	高松支部	● 地区福祉委員会と小地域ネットワーク活動	30 名
9 月 4 日 (日)	末広地区	● 地区福祉委員会と小地域ネットワーク活動	45 名
9 月 4 日 (日)	佐野台 地区	● 地域の絆づくり登録事業と小地域ネットワーク活動における見守りについて	50 名
10 月 25 日 (火)	三小地区	● 地区福祉委員会と小地域ネットワーク活動 ● 高齢者の一人暮らしを支える福祉制度 ● 車イスの押しかた	23 名

(5) 学校における福祉教育への協力

日時	学校	対象	内容
10 月 7 日 (金)	上之郷小学校	3 年生	車イス体験
2 月 2 日 (木)	日根野小学校	3 年生	車イス体験

4. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (世帯)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数 (回)	延べ 訪問人数 (人)	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障がい者他			
日新地区	149	148	0	1	2,012	5,072	63
佐野台地区	193	164	28	1	7,725	11,223	137
北中地区	262	262	0	0	3,179	25,087	67
三小地区	96	87	5	4	2,312	4,438	73
末広地区	64	61	2	1	1,355	2,608	121
一小地区	194	190	1	3	3,286	5,750	201
長滝地区	43	43	0	0	1,297	2,274	65
上之郷地区	44	42	1	1	864	1,030	81
大土地区	45	41	4	0	533	874	57
長坂地区	184	139	25	20	3,612	7,429	119
日根野地区	167	151	16	0	2,282	3,784	226
南中地区	174	174	0	0	2,626	6,902	85
中央地区	210	207	2	1	4,964	8,585	126
二小地区	167	160	5	2	3,097	4,438	124
合計	1,992	1,869	89	34	39,144	89,494	1,545

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	141回	118回	1回	22回	1,937名	587名
佐野台地区	76回	70回	6回	0回	2,142名	810名
北中地区	63回	48回	5回	10回	2,233名	545名
三小地区	99回	19回	5回	75回	1,343名	588名
末広地区	159回	133回	3回	23回	2,245名	640名
一小地区	356回	293回	21回	42回	10,331名	3,177名
長滝地区	42回	26回	2回	14回	930名	540名
上之郷地区	63回	47回	6回	10回	1,030名	374名
大土地区	34回	26回	8回	0回	1,143名	271名
長坂地区	261回	233回	28回	0回	4,229名	1,076名
日根野地区	275回	246回	8回	21回	4,244名	1,152名

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
南 中 地 区	99 回	66 回	22 回	11 回	1,967 名	569 名
中 央 地 区	161 回	88 回	8 回	65 回	2,034 名	728 名
二 小 地 区	301 回	229 回	50 回	22 回	5,504 名	1,023 名
合 計	2,130 回	1,642 回	173 回	315 回	41,312 名	12,080 名

5. 地域の暮らしを話す会の実施

地区	日 時		場 所	人数
日新	2月12日(日)	14:00~15:30	上瓦屋町会館	26名
佐野台	3月2日(木)	19:00~20:30	佐野台集会所	37名
北中	2月25日(土)	19:30~21:00	鶴原町会館	17名
三小	3月5日(日)	10:30~12:00	新町会館	25名
末広	12月13日(火)	19:00~20:30	東羽倉崎南町集会所	29名
一小	2月24日(金)	19:00~20:30	松原町会館	39名
長滝	2月8日(水)	19:00~20:30	長滝町会館	55名
上之郷	12月15日(木)	19:00~20:30	上之郷小学校多目的室	22名
大土	1月28日(土)	19:00~20:30	土丸町会館	32名
長坂	11月15日(火)	19:00~20:30	次世代育成センター	32名
日根野	11月19日(土)	19:00~20:30	日根野町会館	44名
南中	9月2日(金)	19:00~20:30	南部市民交流センター	36名
中央	3月11日(土)	18:00~19:30	幸町会館	12名
二小	※ 未実施			

延べ参加者 406名

6. 地域福祉活動計画の推進

(1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催

1回

〔3〕災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

また平成27年1月より始まった、災害ボランティア事前登録事業については、登録者に対する継続的な情報提供と訓練を行った。

1. 関係役職員を対象とした災害発生時のシミュレーションの実施

災害救援マニュアルに基づき、災害発生時の社協職員の初期対応について再確認した。

開催日 / 平成29年3月5日(日) 午前10時~12時30分

内 容 / 社協災害救援センター設置に向けての初動訓練

場 所 / 社会福祉センター

参加者 / 社協職員 13名

2. 災害時図上訓練用マップの提供

4地区

3. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

防災関係相談支援：延 248 件

訓練・会議等出席状況

開催日	地域	内容
4月23日(土)	市内	泉佐野市自主防災組織連絡会 総会
8月15日(月)	泉ヶ丘	泉ヶ丘絆づくり事業うちあわせ会議
8月30日(火)	泉ヶ丘	泉ヶ丘町自主防災会
9月4日(日)	笠松	笠松町自主防災会 情報総務部会
9月7日(水)	長滝	長滝地区福祉委員会 防災研修
9月14日(水)	笠松	笠松町絆づくり事業うちあわせ会議
10月22日(土)	日根野	日根野地区福祉委員会 防災研修会
10月29日(土)	西佐野台	地域の絆づくりワークショップ
11月6日(日)	上町	市民大防災訓練
〃	笠松	〃
〃	長坂	〃
〃	檜井東	〃
〃	中央	〃
〃	佐野台	〃
2月5日(日)	笠松	笠松町地域の絆づくり事業ワークショップ
3月5日(日)	笠松	笠松町地域の絆づくり事業ワークショップ

4. 災害ボランティア事前登録事業

(1) 事前登録事業 登録者 25名

(2) 講習会・訓練の実施

①災害事前登録者訓練

開催日 / 平成28年9月5日(月) 11時00分～13時00分

場所 / いこらも～る泉佐野 臨時駐車場

(大阪880万人訓練と同日開催)

内容 / テント設営・事業啓発

緊急時連絡の確認

参加者 / 6名(連絡網確認19名)

5. 泉佐野市安心生活創造推進事業 生活課題調整・検討会議の実施

開催回数 6回 参加機関 4機関

6. 熊本地震災害ボランティアセンター運営支援

5月10日(火)～14日(土) 熊本県菊陽町社協 (職員1名)

[4] ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行った。

新規ボランティア発掘のために、はじめてのボランティア講座やボランティアフェステ

イバルを開催、登録ボランティアのスキルアップのためボランティア入門講座やステップアップボランティア講座を開催した。また、金曜日にはボランティアセンター運営委員が午前・午後各2名交代でボランティアセンターの運営にあたった。

登録ボランティアグループ、登録施設を対象に連絡会を開催し、情報交換を行った。

また、5名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設（団体）との調整役として活動した。

1. 各種会議の開催

- | | |
|--------------------------------|-----|
| (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 | 4回 |
| (2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催（サロン開催時） | 12回 |
| (3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 | 1回 |
| (4) 登録施設担当者連絡会の開催 | 2回 |

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

(1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行った。平成28年度の3月末の登録ボランティアは131名、延べ活動人数は2,103名である。内訳は表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保 育	木馬園	一時保育	88名
高齢者	幸テ伊ヒセンター	話し相手、レクリエーション補助	29名
	泉ヶ丘園	外出付添、レクリエーション補助	64名
	アムリタ	話し相手、レクリエーション補助	72名
高齢者	グループホーム泉州	レクリエーション補助	109名
	暢楽荘	レクリエーション補助	102名
	犬鳴山荘	レクリエーション補助	20名
	エルダーケア	レクリエーション補助	315名
	栄公苑	レクリエーション補助	163名
	ラポート	レクリエーション補助	45名
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	44名
	ぎんなん	作業補助	46名
	ふ・ふ・ふ	作業補助	147名
	ベルカント	作業補助	162名
	泉友会	レクリエーション補助	7名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	16名

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
社 協	声のボランティア	市報朗読	120名
	ボランティアセンター	相談受付、シャピ [®] -喫茶	201名
	行事	イベント手伝い	289名
	サロン・ド [®] ・ボランティア	サロン喫茶	64名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。

3月末の登録ボランティアグループは15グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
ぶどうの会	物品提供（社協チャリティバザール）	1回	10名
手話サークル いちよう	手話通訳（社協チャリティバザール）	1回	3名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1回	2名
	手話通訳（ボランティアフェスティバル）	1回	8名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	17回	151名
食生活改善協 議会	チャリティバザール事業手伝い	1回	8名
	ボランティアフェスティバル手伝い	1回	10名

3. 講座及び研修会の開催

(1) ボランティア入門講座

登録ボランティアが、安心してボランティア活動に参加できるようボランティア入門講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			出席者	アドバイザー	合計
7月13日	社協	・車椅子の取り扱い、手話での挨拶、交流	2名	5名	7名
2月6日	研修室		1名	3名	4名

(2) ステップアップボランティア講座

登録ボランティアや受入施設（団体）が、ボランティア活動の心構えを理解することで、資質向上を図ることを目的にステップアップボランティア講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
3月22日	社会福祉センター	「ストレスとの向き合い方」	56名

(3) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア研修・交流会

登録ボランティアの資質向上と親睦を図ることを目的として開催した。

開催日 / 平成28年11月24日(木)

場 所 / 社会福祉センター3階 大会議室

参加者 / 81名

内 容 / 知的障がい者および障害者施設の理解について

4. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がいへの理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 平成29年2月25日(土)

場 所 / 社会福祉センター3階

内 容 / ボッチャ

参加者 / 対象者・同伴者35名・ボランティア等7名 合計42名

(2) ボッチャスクール

2020年開催の東京パラリンピックでボッチャが行われるにあたり、障がいのある人もない人も同じ地域住民として、共に楽しむことのできるスポーツであるボッチャを通じて相互の理解と交流を図ることによって障がい者への理解を促進し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的として開催した。

開催日 / 平成28年8月3・10・17日(水)

場 所 / オークアリーナー

内 容 / ボッチャ

協力者 / 対象者・同伴者81名・ボランティア等59名 合計140名

(3) 第38回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループが、あらゆる品物を持ち寄り市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。

売上金 1,716,852円 (昨年比 -33,248円)

開催日 / 平成28年12月11日(日)

場 所 / 社会福祉センター

内 容 / 物品販売・オークション・喫茶コーナー等

協力者 / 前日 値付け 70名

当日 各種団体・ボランティア・社協関係者/合計118名

(4) 第38回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員が関わっている子ども、両親のいない児童や交通遺児を対象に開催した。

開催日 / 平成28年12月17日(土)
 場所 / 泉の森ホール レセプションホール
 内容 / 紙芝居・人形劇・大道芸
 参加者 / 対象児童46名・同伴者71名・ボランティア62名
 合計179名

(5) 第5回 ボランティアフェスティバル

1人でも多くの人たちにボランティア活動について関心を持っていただくとともに、潜在的なボランティアを発掘することと、ボランティア相互の交流を図ることを目的に開催した。

開催日 / 平成28年5月21日(土) 11時00分～13時30分
 場所 / 籠池公園
 参加者 / 一般参加者168名、出演者62名、ボランティア62名
 合計292名

5. 登録ボランティアグループ作業室利用件数

	AM	PM	計		AM	PM	計
4月	5	9	14	10月	3	9	12
5月	3	7	10	11月	4	8	12
6月	6	9	15	12月	2	5	7
7月	4	9	13	1月	3	7	10
8月	2	4	6	2月	3	8	11
9月	4	6	10	3月	5	8	13
				合計	44	89	133

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	29件
寄託金額	2,826,584円
寄託物品	布、ペットボトルキャップ、雑貨、おこめ券、 図書カード他

払い出し件数	8件	
払い出し金	① 障がい児のためのサマースクール	50,324円
	② 社協だより発刊	195,856円
	③ ボランティア・KIT フェスティバル開催諸費	108,346円
	④ チャリティバザー開催諸費	63,400円
	⑤ ふれあいクリスマス会開催諸費	213,870円
	⑥ 障害児者ふれあい交流会	20,216円
	⑦ 心配ごと相談事業	167,068円
	⑧ 災害に強いまちづくり事業	74,142円
	合計	893,222円

〔5〕総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

1. 心配ごと相談所の開設

相談員数	13名
開設延日数	47日（うち出張相談1日）
出席延相談員数	98名
相談者数	26名（うち出張相談3名）
相談件数	28件（うち出張相談3件）
相談員連絡会議	4月7日(木) 社協2階研修室
出張相談	10月13日(火) 相談員8名 いこらも～る泉佐野

※相談状況

内容 対象者	家族 関係	人 間 の 関 係	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高齢者	8	1	0	0	1	2	2	14
障がい者	0	2	0	0	0	0	0	2
子育て中の親	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	4	0	2	2	0	3	0	11
計	12	3	2	3	1	5	2	28

※対応

傾聴	11件
助言	4件
他機関紹介	13件（CSW、地域包括支援センター、大阪弁護士会、福祉委員会、市役所生活福祉課（生活困窮）、市役所法律無料相談、病院）

〔6〕コミュニティソーシャルワーク推進事業

CSW事業の管理者として、委託先の各法人CSWをおおむね中学校区に配置し、緊密な連携をとりながらCSW事業の体制強化とネットワークの構築を行った。今年度は特に小中学校との連携を強化し、子どもを含む世帯の事例の発見や支援への流れができた。また、学識者のスーパーバイズや連絡会議を通じてCSWのスキルアップを図り、複雑な課題を抱えている要援護者の発見・つなぎ・見守りの機能強化を行った。

1. 各種会議の開催

(1) 管理者担当者合同連絡会の開催	1回
(2) スーパーバイズ会議の開催	9回
(3) CSW連絡会議の開催	12回

2. 地区担当CSW活動支援（統括CSW）

【地区担当CSW】

社協（新池中校区）・水平会（第三中校区）・泉ヶ丘福祉会（佐野中校区）
常茂恵会（長南中校区・日根野中校区）

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| (1) 地区CSW後方支援（個別ケース等） | 86件 |
| (2) 地区CSWへのつなぎ | 41件 |
| (3) ケース検討会議 | 12件 |
| (4) ネットワーク構築のための会議出席
（ケース検討会議を除く） | 71件 |

3. 新池中校区活動実績（個別相談）

(1) 対象者別

相談対象者	延べ件数	実件数
高齢者	402	29
1人暮らし	328	19
高齢者のみ世帯	53	8
その他高齢者	21	2
障がい者	710	13
身体障がい者	57	1
知的障がい者	32	1
精神障がい者	621	11
子育て中の親子	67	3
一人親家庭の親子	0	0
青少年	0	0
DV被害者	0	0
ホームレス	0	0
外国人（中国帰国者を含む）	0	0
その他	143	11
低収入（無職含む）	11	1
引きこもり	4	1
障がい疑い（疾病疑い）	44	2
DV加害者、虐待	24	3
その他	60	4
合計	1,322	56

(2) 相談内容別

相談内容	対応延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	245
生活に関する身近な相談	708
健康・医療に関する相談	314
生活費に関する相談	203
就労に関する相談	214
財産管理・権利擁護に関する相談	3
多重債務に関する相談	0
DV・虐待に関する相談	28
地域福祉・ボランティアに関する相談	80
住宅に関する相談	21
子育て・子どもの教育に関する相談	2
その他	494
近隣トラブル（人間関係）	343
家族関係	151
その他	0
合 計	2,312

〔7〕 在宅福祉活動の推進

公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

1. 有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

(1) 会員の登録状況

協力会員 / 24名 利用会員 / 23名

(2) 支援状況 延べ119時間

(3) 協力員連絡会の開催 2回

(4) 運営委員会の開催 1回

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 11名 / 貸出回数 延べ30回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 17名 / 貸出回数 延べ25回

〔8〕地域包括支援センター事業の推進

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に各事業に取り組んだ。総合相談窓口として、本人・家族・他機関からの相談を受け、関係機関・多職種との連携支援を行った。

介護予防業務として、高齢者が要介護状態にならないように要支援者などに介護予防計画の作成や介護予防に関する講演会の開催。また、地域からの希望テーマに合わせた出張講座などを実施した。高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修、支援を行った。

認知症施策総合推進事業として、認知症の人やその家族の方などが一息できる場としての認知症カフェの開催や安全・安心に生活できるよう認知症サポーターを養成し、徘徊者を発見するシステム徘徊SOSネットワークの南泉州圏域に参画した。

1. 支援の基盤整備

(1) 高齢者虐待早期発見・見守りネットワーク

会議	1回	参加機関	17機関
研修会	1回	参加人数	67名

高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数	49件（うち「虐待あり」判断数29件）
個別ケース会議開催数	22回

(2) 多職種連携会議

参加機関	14機関
研修会	①りんくう愛たいネット（泉佐野市田尻町多職種連携研修会） 2回 参加人数 161名（延べ）
	②泉佐野泉南医師会圏域研修会 1回 参加人数 184名

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数	690名		
相談延べ件数（対応回数）	4,817件		
相談形態内訳	訪問	1,063	22.1%
	来所面接	573	11.9%
	電話	3,181	66.0%

(2) 相談内容

相談内容		件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	529	6.3%
	ケアプラン	797	9.4%
	サービス	1,069	12.6%
	施設入所	271	3.2%
	小計	2,666	31.5%

相 談 内 容		件数	割合
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	107	1.3%
	ボランティアなど(制度外)	76	0.9%
	小計	183	2.2%
医療・保健相談	保健予防	18	0.2%
	入退院など(医療)	589	7.0%
	小計	607	7.2%
家庭介護・介護者支援	認知症	906	10.7%
	身体介護	5	0.1%
	精神介護	54	0.6%
	家庭環境	1,227	14.5%
	小計	2,192	25.9%
権利擁護	成年後見制度など	200	2.4%
	財産・経済問題など	782	9.3%
	虐待関係	1,201	14.2%
	その他	83	1.0%
	小計	2,270	26.9%
その他生活上の相談	社会生活など	201	2.4%
	他	334	3.9%
	小計	535	6.3%
合 計		8,453	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5か所 年間相談件数 176件

- ・犬鳴在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・レポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数 759件

(相談内容)

支援数	支援内訳(延べ)				
	ケアマネジメント	社会資源 紹介	主治医 連携	虐待防止	その他
759	311	38	15	604	120

(2) 事業所向け研修会

開催日	内 容	参加人数
5月16日(月)	事例検討会	29
8月25日(月)	研修会 「介護予防・日常生活支援総合事業の基本的考え方」	150
9月23日(金)	事例検討会	32
11月18日(金)	ケアマネジャーのつどい I	60
3月17日(金)	ケアマネジャーのつどい II	83

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

総会 1回 幹事会 5回
6市町村ケアマネジャー合同連絡会 2回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・二次予防事業対象者に対する介護予防ケアプランの作成

要支援者：介護予防計画延べ作成件数 10,262件

(内訳) 包括作成 1,563件 委託件数 8,699件

二次予防事業件数：介護予防計画アセスメント件数 81件

5. 出張講座・介護予防教室等

介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する内容

23回実施 延べ904名

6. 平成28年度介護の日 記念講演会

開催日 / 平成28年11月26日(土) 午後2時～4時

場 所 / 社会福祉センター 3階 大会議室

内 容 / 講演「笑って笑ってお元気に」

講師 笑福亭 学光 氏 (落語家)

参加者 / 107名

7. 介護支援サポーター事業

登録者数	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
53名	57名	240回

(1) 介護支援サポーター交流会

開催日	内 容	参加者数
5月23日(月)	健康長寿のポイント・受け入れ施設との交流	15名 (うち 7施設7名)
7月26日(火)	研修「回想法をやってみよう」 講師：西宮市立郷土資料館 西尾嘉美 氏	36名 (うち 5施設5名) 一般市民27名)

開催日	内 容	参加者数
2月27日(月)	サポーター活動発表・受入施設との交流	19名 (うち 5施設6名)

8. 認知症施策総合推進事業

(1) オレンジカフェいずみさの (認知症カフェ)

毎月1回 13時30分～15時30分 社会福祉センター3階

12回開催 延べ241名参加

開催日	参加人数	内 容
4月15日(金)	21	グループトーク： 「私の健康法」「認知症予防」「介護の工夫」「介護保険サービス」など
5月26日(金)	20	
6月17日(金)	15	
7月15日(金)	14	レクリエーション： 「脳トレ」「創作活動」「お話コーナー」「講話」 「ハンドベル演奏」「ボランティア招待」など
8月16日(金)	14	
9月16日(金)	23	
10月28日(金)	15	
11月25日(金)	19	
12月14日(金)	19	
1月20日(金)	18	
3月24日(金)	18	
2月17日(金)	45	講演「認知症予防～作業療法士からのご提案」 講師：希望や訪問介護ステーション 泉州支所 野寄 健氏 (作業療法士) ※介護予防教室と同時開催

(2) 認知症カフェスタッフ 交流会

月 日	参加人数
6月27日(月)	8名
3月30日(木)	13名

(3) 認知症ケアパスの配布先を拡大した

(4) 認知症サポーター養成講座

開催回数 13回 養成サポーター数 397名 延べ 4,993名

(5) 徘徊SOSネットワーク事業

- ・Biz FAXの導入とテスト配信、泉州南圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク要綱変更に伴うアンケート調査実施

- ・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画
- ・事業普及啓発のチラシ更新、配布

〔9〕 基幹相談支援センター事業の推進

「相談支援のしくみを強化する」を目的に、サービス利用更新者と新規サービス利用者に対し、サービス等利用計画作成の担当調整等を実施し必要なサービスを提供できるしくみ（コーディネート機能）を担った。また、特に相談件数が増えている「発達障がい」について専門相談機関と連携強化をはかり支援の幅を広げた。

「権利を守る支援」として、平成28年4月1日から新たに障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律「障害者差別解消法」が施行されたことを受け、新規参入の事業所や行政職員に向けてについて啓発冊子を活用し研修を行った。

そのほか、啓発活動の一環として、小学校に出向いて「車いす体験」出張講座を開催した。また、障がい者週間や社協イベントにあわせて啓発用冊子等を活用し、障がいや障がい者（児）の理解について啓発を行った。

1. 基幹相談支援センター業務

(1) 総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

●相談状況

相談実人数		270名
相談延べ件数（対応回数）		5,210件
相談形態内訳	訪問	355件
	来所面接	514件
	出張相談	17件
	同行	50件
	電話	2,456件
	メール	20件
	関係機関連絡調整	1,623件
	個別支援会議	159件
	その他	16件

●相談内容

相談内容	延べ件数
福祉サービスの利用等	2,080件
障がいや病状の理解	588件
健康・医療	457件
不安の解消・情緒安定	590件
保育・教育	23件

相談内容	延べ件数
家族関係・人間関係	409件
家計・経済	115件
生活技術	61件
就労	151件
社会参加・余暇活動	266件
権利擁護	1,376件
その他	53件

(2) 専門相談機能

内容	対応回数
相談支援事業所向け後方支援	223回
初任相談支援専門員向け研修会	6回
相談支援専門員研修	3回

(3) 自立支援協議会の事務局運営

事務局会議	12回
全体会・定例会・専門部会他会議の運営	33回
啓発イベント（わおねっとシンポジウム）	1回

(4) 事業所連絡会のコーディネート

開催日	内容	参加人数
6月27日(月)	「障がい者の権利擁護」 講師：平田弁護士	57名
9月26日(月)	「発達障がいの特性理解」～疑似体験を通して～ 講師：大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか	48名
11月9日(水)	「事例から見る発達障がいの支援」 講師：大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか	39名

(5) 相談支援体制強化（会議等の参加）

「小児在宅医療ケア連絡会」「泉州高次脳機能障害支援ネットワーク作業部会」
「発達障がい者地域支援ネットワーク会」「ジョブネット泉州南」
「進路指導関係連絡会（大阪府立泉南支援学校）」「泉佐野市相談事業連絡会」

(6) 啓発活動

- ・障がい理解啓発冊子「やさしいきもち」 13小学校に配布
- ・福祉教育（車いす体験） 2小学校に出張
- ・障がい福祉サービス利用手引き 相談窓口配布
- ・障がい福祉サービス利用手引き ホームページ掲載情報更新

(7) 講師派遣

「障害者差別解消法における合理的配慮」

- ・一小地区
- ・市職員研修4回
- ・相談事業所連絡会議

「障がい福祉サービス基礎知識」

- ・泉州圏域高次脳機能障害支援ネットワーク会議

「大阪府相談支援従事者研修」

- ・初心者研修講義 3回
- ・ファシリテーター 5回

2. 障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

- ・障がい者虐待通報受理件数 20件

	通報件数	対応継続	対応終結
泉佐野市	18件	8件	10件
田尻町	2件	1件	1件

- ・障害者虐待会議（レビュー会議） 泉佐野市 2回
田尻町 1回

3. 権利擁護支援センター業務

平成 28 年度はセンターとして 3 年目になり、権利擁護事例が蓄積されてきたため、法律相談の内容を中心にまとめて事例集を発行した。

センターの相談受付数は 858 件で前年度の 4.1 倍に伸びた結果をうけ、相談先として周知されてきたことがうかがえる。

なかでも障がい者虐待相談は、相談先が認知されることで潜在化していた問題が顕在化したといえよう。件数としては少ないが、H28 年 4 月の障害者差別解消法施行にともない、これまでなかった、「差別的扱い」に関する相談も入るようになったことは今年度の特徴であった。

市民後見人については、被後見人が亡くなったため、受任者は前年度から 1 名減の 2 名となった。バンク登録者は 1 名が退会したため、今年度の養成講座修了者 4 名と受任者を含めると総勢 13 名となった。

啓発活動は、事業所向けだけでなく、講師を招いて市民向けに「成年後見制度」の講座や関係団体への出張講座を実施した。また、地域での出張講座に利用できる市民向け研修メニューを追加した。

- (1) 権利擁護に関する相談【内訳】 858件

権利擁護	成年後見制度	虐待	その他	のべ件数
87	73	672	26	858

【対応件数】

相談実人数		46
相談のべ件数（対応回数）		858
相談結果の内訳	サービス・相談員につなぐ	10
	（成年後見）制度説明	11

相談結果の内訳	日常生活・成年後見につなぐ	2
	行政（子育て・障害福祉課等）につなぐ	7
	関係機関（病院・包括）等につなぐ	4
	情報共有会議の実施	3
	法律相談（権利擁護）へ	2
	差別解消部会へ情報提供	1
	その他（連絡取れない他）	6

(2) センター会議 13回

(3) 法律相談 弁護士による個別相談 47件

(4) 市民後見人関係：受任者2名・バンク登録者13名（受任者含む）

会議（民後見会議担当課との打ち合わせ・受任調整会議への参加）	9回
養成（養成講座・修了時面接・バンク登録者研修への参加）	14回
活動支援：専門相談（大阪後見センター専門職への相談）	6回
活動支援：来所・訪問での対応	15回
活動支援：電話での対応	78回
後見C・市等への連絡・打ち合わせ	19回

・オリエンテーション広報（チラシ・ポスター配布、社協だより・ブログ・市報等）

(5) 啓発活動

・法律相談事例集「福祉職のための意外と知らない法律あれこれ」作成

・市民向け研修メニューの追加

「寸劇:成年後見制度」・「障がい理解と障害者差別解消法について」

(6) 研修開催・講師派遣

開催日	内容	参加人数
4月23日(土)	出張講座 第3地区民児会総会 「成年後見制度」	47名
5月28日(土)	市民向け講座 講師:平田弁護士 「いつかくるその時に 知っておくといい手続きのはなし。」	39名
6月27日(月)	(基幹)事業所連絡会 権利擁護研修 講師：平田弁護士 「障がい者の権利擁護」＋障がい者の権利擁護に関するアンケート報告	57名
2月16日(木)	市民後見人地域別バンク登録者研修 「障がい理解と障害者差別解消法について」	7名
3月23日(木)	社協職員法律相談勉強会 講師：平田弁護士	14名
3月24日(金)	法律相談事例集 社協職員研修	12名

開催日	内 容	参加人数
3月27日(月)	法律相談事例集 社協職員研修	9名

4. 障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務にあたる。

(1) 調査業務

	年間合計
更新調査数	162
新規調査数	139
区分変更	6
合計	307
うち市外（高石以南）	44

〔10〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙「社協だより」を年6回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

その他、社会福祉協議会および各事業を知っていただくこと、地域福祉に関心をもってもらうことを目的に、市内で行われた他団体主催のイベントにブース出展を行った。

- (1) 社協だよりの発行 年6回（5月・7月・11月・1月・3月）
- (2) 社協ホームページの運営 年間閲覧件数 延63,951件
- (3) KIT フェスティバルでのブース出展（9月11日(日)いこらも～る泉佐野）
- (4) イオンキッズお仕事体験でのブース出展（11月13日(日)イオン日根野店）

〔11〕 日常生活自立支援事業の推進

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計	
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等		精神 障がい者等
活 動 件 数		454	733	625	1,812
新 規 契 約 件 数		1	1	8	10
契 約 件 数		15	18	20	53

[12] 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,723,500円（昨年比 +46,000円）の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、290,000円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1, 5 6 2, 0 0 0 円
二 小 地 区	5 4 0, 0 0 0 円
三 小 地 区	7 5 6, 0 0 0 円
日 新 地 区	1, 1 1 2, 5 0 0 円
中 央 地 区	4 0 0, 0 0 0 円
長 滝 地 区	5 1 0, 0 0 0 円
北 中 地 区	8 4 7, 0 0 0 円
南 中 地 区	2 6 0, 0 0 0 円
長 坂 地 区	3 7 0, 0 0 0 円
佐 野 台 地 区	6 0 6, 0 0 0 円
上 之 郷 地 区	2 5 0, 0 0 0 円
日 根 野 地 区	3 0 0, 0 0 0 円
末 広 地 区	1 2 0, 0 0 0 円
大 土 地 区	9 0, 0 0 0 円
合 計	7, 7 2 3, 5 0 0 円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちよしの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	泉佐野ルーテル保育園
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会
社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和保育園	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	株式会社日王
大阪いずみ市民生活協同組合	

〔13〕 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金（13回）等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校4校にて児童による募金活動が行われた。

募金額 2,719,852円（昨年比 -84,404円）

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあったかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 63件 募金額 899,797円（昨年比 -265,587円）
払出金額 824,992円

〔14〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

相談件数	234件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金含む	小口生活資金
申込件数	29件	4件	6件
申込金額	18,397,000円	1,680,000円	560,000円

〔15〕 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。

職員研修では、人権研修等を実施し、職員の意識向上を図った。

1. 高齢者・障がい者交流会及び研修会の開催

開催日	研修会名	参加人数
10月28日(金)	泉州冬美座歌謡ショー 社協リーフレット紹介・赤い羽根募金を行う 社会福祉センター1階 大広間	93名
1月23日(月)	白鳥まゆライブ及びスカイブリッジの漫才 社協リーフレット・老人福祉センターの紹介 社会福祉センター3階 大会議室	82名

2. 福祉センター利用状況

風呂利用者数	娯楽室利用者数
7,905 名	11,848 名

会議室利用件数

	第1会議室	第2会議室	大会議室	合計
午前	122件 1,403名	123件 1,396名	203件 10,489名	448件 13,288名
午後	207件 2,768名	172件 1,727名	226件 9,005名	605件 13,500名
夜間	128件 2,540名	28件 446名	36件 2,375名	192件 5,361名
合計	457件 6,711名	323件 3,569名	465件 21,869名	1,245件 32,149名